(一) 第百十六號 [illegible] 京城新聞 明治四十一年十一月廿一日 [illegible]

京城新聞

寄書 日曜の一日

不言生

二六時中常に閑散なれども世の人々の多忙なる爲め日曜ならでは、すぐ目と鼻との間なるも千里を隔つるが如く塘棣の花の如し今日は幸ひ日曜のことなれば平素の疎情を謝し舊誼を温めんとて訪へば友人先づ座を與へて曰く君近頃不言生の名を以て綺語を弄し漫言をなすと之れ不言の名に反せずやと劈頭先づ一矢を向けらる負け憎みの余何ぞ嘿々甘受することを得んや畢生の智慧袋を絞り出して曰く君彼の不動尊を知れりや不動尊は慈悲の心を以て其躰恒に活動して止む時なし止む時なけれども其止むことなき本躰より之れを見れば不動なるが如し例は地球が太陽の周圍を[illegible]三百六十五日一日も止むことなし止むことなけれども地球其物の實躰より之れを見れば靜止して動かざるが如し余の不言生亦此の如し且曰く余の不言は眞理を云はずとの謂なり君よ君の知る如く眞理は語る可からず言ふ可からざるなり釋尊四十九年間一字を說かずと云ふも蓋し此の意ならむ孔子我亦言ざらんと云々せるも此意ならむか曾子一貫忠恕の道嘿々に解得す迦葉釋尊の意を拈華に依て以心傳心す斯の如く眞理は語る可からず余が不言生と云ふも眞理を云はざるの謂なりと知る可しと斯く苦しき答辯をなし早速辭して佛蘭西の教會堂に遊ぶ此日丁度司教の歸韓とかにて歡迎門は造られ堂内は只さへ金色燦爛たる上に生草百花を以て裝飾せらる此莊嚴なるを見ては何となく一種の威に打たれたり實に宗教は信仰、信仰は莊嚴より來るものなるが去つて日本基督教會に往き橋本氏の說教を聽く氏は使徒行傳十六章二十六節の俄に大なる地震ありて獄の基礎ふるひ動き門ことごとく直に啓け繋ての囚者の械繋とけたりと云ふを題に世の人々は名譽と金錢との獄に繋かれて精神の自由を得ず名譽も一時のものなり金錢も盡くることあるなり盡くることある名譽と金錢とに熱中するものは精神を之れに入るゝものなり實に歎ずべきの事なりとて縷々數千言其論理の高尚と熱心とは聞くものをして轉た天國に遊ばしめたり慈起す嘗て德富民友記者が佛敎の觀音經の復有人若有罪若無罪杻械枷鎖檢繫其身稱觀世音菩薩名者皆悉斷壞即得解脫と云ふ文を評して佛敎は社會の秩序を紊り法律規則を蹂躙するもの也と酷評せられたれども聖書の此意味を以て此精神界の解脫と見れば差支なかる可きか

俳句

○吟光小會集

冬隣

藥草のせし切ふ霽冬隣 崙香
落人の住み里思ふ冬隣 同
川千鳥啼き初めけり冬隣 華堂
馬に積む薪の價や冬隣 系三
爽水に柿の葉赤し冬隣 晃南
大杉に月小に光る冬隣 同
門前の小僧に冬の日は冬近し 究吏
賤が家に大根干すや冬隣 一止

蕎麥湯

參禪の戾りに供養蕎麥湯かな 草四
行燈の煤る宿の蕎麥湯かな 同
蕎麥湯していで最明寺に進ばや 華堂
身に泌む夜は一風呂に蕎麥湯哉 同
木曾の山行暮れの宿の蕎麥湯哉 同
落水の城に宿直す蕎麥湯かな 同
蕎麥湯して榾火のはねし笑ひ哉 空吏
蕎麥の湯に酔の見へたぬくみ哉 同
月落て寒き身にしむ蕎麥湯哉 系三
貰ひ風呂蕎麥湯も招ばる隣寺 白召

講談 名奉行（四）

桂文枝口演

居所が定まりますと、シーイ、と警蹕の聲で[illegible]ぶつ違い大小を前半に手挾み白扇を持てピタリと御着座 奉「南瓦屋町二丁目帶屋久七出居るか」久「是に差控へ居ります」奉「南瓦屋町五丁目和泉屋武兵衛出居るか」武「是に和へ居ります」奉「又和泉屋武兵衛方食客人和泉屋與兵衛出居るか」與「恐れながら是に差控へ居ります」奉「帶屋久七より願ひ出たる願書の趣きは、放火を致したとあるが左樣か」與「ヘエ火附いたしたに相違でございません」奉「和泉屋武兵衛是なる與兵衛は其方の緣家であるか」武「緣家所ではござりませぬ私の舊主人でございます」奉「和泉屋與兵衛、帶屋久七は其方の緣家か」與「イエ赤の他人でございます」奉「如何なる意趣で放火いたした、有體に申上げよ」久「恐れながら帶屋久七申上げます、彼先日私方へ無心に參りました其の無心を聞き入れませなんだ故、其れを意恨に火付けをいたしました樣に心得ます」奉「不埒至極の奴ぢや、コリャ與兵衛、赤の他人の宅へ參り無心合力を申込み、其を聞屆ぬからと申して火附致すとは言語同斷、もし大火に相成らば如何いたす」與「和泉屋與兵衛申上げます、火位附けてやつても大事ないのでございます」奉「默れッ、火附しても宜いとは何事ぢや」與「十年前の三月に二十兩金を借りに參りました、其時金を貸して、酒を飲まして歸しました」奉「二十兩の無心を聞けば酒位い振舞してやつたは當然ぢや」與「イエ私から飯ましてやつたのでござります」奉「ハア、左樣か、其二十兩の金を彼がまた返さぬのか」與「二十日程經ましたら返しました」奉「金を返したら其れで宜いではないか」與「夫れから五月に三十兩、七月に五十兩、九月に七十兩」奉「其れはまだ返さぬのか」與「皆な二十日程經つて返へしました」奉「返した事は申さずとも宜いわい」與「中拂に百兩、其金は大三十日に持つて參りました、其の時士居の御留守、加藤左平次樣からの急注文、直ぐに來いとの事で、私はお屋敷へ出ました、歸つて見れば金はなし、家内殘らず調べても知れません。其頭は、おかげ樣で店には曲り根性のある者はなし、其日私の居間へ這入つた者は久七ばかりとの事、其時思ひました、是は私が悪かつた、直ぐに用箪笥へ入れたら宜かつた、願ふた所で血で血を洗ふ同商賣、今年の厄落しぢやと其儘に捨置きました。春になつて娘の病死、續いて家内も死にました其の年十二月餓鑑の火事で丸燒家も粉もない裸さへ病氣になり。是に居ります武兵衛が、十ヶ年養ふて呉れました是にても氣の毒、金を借りました時利息は貰ひませなんだで、其時の利息と思て、何卒か惡んで呉れと頼みましたら、無心も聞かず恥をかゝし其上私の眉間に疵を附け皆なが寄つて打擲して上げ句に突出され、私は口惜しくて裏手へ廻つて縊れて死ぬ心算で細帶を探す、[illegible]先へ泡盛がございました火の用心の悪い事と思ふ内、同じ死ぬなら此家も一緒に丸燒けにしてやらうと、どうやら斯うやら火を付けましたら皆が來て消して終ひました拍子の悪い事でござります」奉「其れは拍子が宜いのぢや」與「お町内が間違で事を濟して下されまして、お金を十兩頂だきましたに相違ござりませぬ」奉「帶屋久七、其方十年前の三月和泉屋與兵衛方に於て金子二十兩借りた覺へあるか」久「ヘエ慥かに借りましてございます」奉「其は返したな」久「ヘエ返しました」奉「五月に三十兩、七月に五十兩、九月に七十兩、皆返したな」久「ヘエ慥な返しました」奉「中拂の百兩返したか」久「へエッ……」奉「返したかぞうぢや、如何ぢや／＼」久「ヘ、ッ……かへしました、タ、慥かに返しましてございます」奉「ウム其は其方思ひ違ひを致して居るであらう何故と申すに、大晦日の日でないか、殊に多くの人出入り、モシ他の者が見たら傍に人は居ず、大枚百兩、金を見て悪心の起るは是りや當然の事ぢや、其方も其れへ心付き親切づくで持歸り、春永に相成らば持參いたさうと心得、其れをツイ忘れたのであらう、そりや左樣なくてはならぬ事其の方もなか／＼分別のありさうな男ぢや、金は持歸つたのであらうの」久「ヘエ返しました」奉「コリャ左樣に頑固を申さず前後の事を能う考へて見よ、又た思ひ出す事があるかも知れぬ」久「思ひ出しませぬ」奉「然らば手を出せ」久「ヘエ」と手を出しますと、左りの人差指と中指を一ツにして細い紙で卷いて糊で封をして印をピタリ久「是はなんでございます」奉「物を思ひ出す呪いぢや、是には奉行の判が捺してあるぞ、破却する時は其方は死罪家は欠所、其旨心得て立ちませい」何心なく歸りましたが、サア御飯を頂だく事が出來ぬ、是は握飯にしてなりと出來ますが、寢る事が出來ぬ寢やうが悪くつて破れましたら、命がない、三日經と泣出しました番頭が其へ參りまして番「悪い事は申しません、お願ひなされ、思ひ出したといふて百兩お出しなされ今の御身代で百兩位は出しました處で何んの事もござりますまい、首がなくつて入用も駄目です。」

▲無料紹介欄▼

人事部

●[illegible] 永樂町一丁目三六二番[illegible]方[illegible]受けたし（一〇三）

●雇ひたし 石鹸製造に經驗あるもの至急入用 氏名在社（一〇四）

●呉服商 に多年經驗あるもの雇はれたし 年十九 氏名在社（一〇五）

●官衙 の給仕に雇はれたし年十八 氏名在社（一〇六）

●被雇度 陸軍[illegible]海軍一等機關兵年廿六歳機械類の運轉取扱ひ雇はれたし普通學有韓語に通ず給料多きを不望 氏名在社（一〇七）

鹿兒島縣人有馬氏の住所を問ふ 同縣人（一〇八）

店員入用 新炭商に經驗ある者名履入たし 壽町三丁目今福商店（[illegible]）

●雇れたし 年三十九中等教育有壯年健[illegible]病院會社の受附又は商店の帳場員を望む 氏名在社（[illegible]）

●雇れたし 年廿六身体頑健職業を擇はす相當の家に雇れたし 氏名在社（一一三）

●店員入用 保證人ある十六才以上十八才までの人至急入用 氏名在社（一〇九）

●看護婦至急入用 明治町二丁目松岡醫院（[illegible]）

●女子見習生募集 本町六丁目中村齒科醫院

●韓語速成[illegible] 本町六丁目[illegible]五韓語速成講習所

崎村君 [illegible]

下女入用 [illegible]

女中入用 [illegible]

英韓語無料教授自午後六時至九時永樂町三丁目二十一番戶ノ四 上田生（[illegible]）

二十歳迄の店員五名身元保證人ある者雇入たし 姓名在社（[illegible]）

物件部

賣地 本町八丁目通り地所貳百坪溫突八間八間の建家共至急賣却致度御希望の方は御來談を乞ふ 姓名在社（九八）

賣地 本町八丁目通り地所四十坪溫突十間建家の價格安にて至急賣却 姓名在社（九九）

賣地 京仁線富平停車場近所在上水田四石落安價にて賣却す希望者は至急申込あれ 旭町二丁目京城興信所（一〇〇）

便利の場所にして電話の備もあり家屋向き八疊四疊半五ノ間二階貸間あり電話六五九番に御照會あれ（[illegible]）

賄付貸間あり 姓名在社（[illegible]）

古着 其他諸不用品買受けたし 旭町二丁目競賣所（[illegible]）

貸間 旭町一丁目便利の場所にて六疊二間二階貸したし望の方は御來談被下度候 旭町一の六十 仁商會（[illegible]）

東拓と紙幣發行

最近接受せる東京通信に依れば東洋拓殖會社に紙幣發行の權を與へんとするの說あり、而も內部の有力者間に此說を主張するものあり、外部に於ても熱心なる賛成者ありて頗る有力なる說となれる觀ありと、而して此問題に就ては伊藤井上の兩元老を除くの外は他の元老も現內閣も賛成なりと云ふ、余輩の接受したる通信の如何なる程度まで信憑すべきかは一の疑問なれども、要するに朝野の間に此問題の起り居るは事實なりと見るも大過なからん、果して然らば今に於て之が可否を攻究するの決して無要にあらざるを信ず

抑も拓殖會社の如き土地經營をなすべき會社に紙幣發行の特權を付與して政府以外に金融經濟の權を獨占せしむるに於ては之に伴ふ弊害は起らざる乎、之を換言すればこの殖民會社に經濟の特權迄を與ふるは果して何等の弊害を伴ふ恐れなきかの問題なり、列國が殖民會社に對する狀態を見るに、其殖民會社を保護する爲には種々の方面より援助を與へ土地の如きは特に會社に附與したるの例あるも、未だ紙幣發行權迄も附與せるを聞かず、余輩は列國が斯の如くなるを以て我拓殖會社に紙幣發行權を附與するを否なりと云ふに非ず、我が拓殖會社は列國の殖民會社とは其趣を異にするを以て從て其經營も自ら異る所あるなり、殊に日韓合同の會社にして兩國政府の許可により設立せられたる一種變體のものなり、而して韓國現下の事情に於ては會社に紙幣の發行權を委ぬるの必要ある場合もあらん、然れども物は利益と弊害とを照査せざれば小利の爲に大害を招くが如き愚に陷入るの例少しとせず、之れ余輩が其可否を研究せんとする其一なり、而して韓國政府として拓殖會社をして中央銀行の役目を爲さしむるは果して害を得るものなりや否や是も亦一の問題なり、假令韓國政府に之を承認せしむるとするも更に一の問題に逢着せざるを得ず、幷は現在韓國に於て發行權を有する第一銀行の特權を如何にすべきや、之を全然別種のものとすれば茲に金融機關の中心は二途に岐れ世人の迷惑甚だしきものならん、若し夫れ之を一に歸せんとすれば第一銀行の發行權を如何に處分すべきや、强て之を停止せしめんとするも第一銀行に於ては容易に此權利を放棄するものに非ざるべし、余輩は素より紙幣の發行權を拓殖會社に委ぬるも、第一銀行をして繼續せしむるとも、其點に於ては何れを可とし否とするものに非ずと雖も、要は只根本に於て金融界及經濟界の圓滿なるを得る適法を望むのみ、而して拓殖會社に紙幣發行權を委ぬる事が果して適法なりや否を攻究せんとするものなり、今や此問題が有力の說となるに及で之を世に提供して識者の攻究を請はんとするのみ、之れ帝國の半島經營に於て重要なる問題たれば也

雜報

●鷹司侍從武官

長き邊の思召を以て侍從武官陸軍步兵大佐公爵鷹司熙通氏は韓國に差遣せられ馬關より伊藤統監と同行せらるゝことゝなれり

●統監の旅程

伊藤統監は二十三日午前十一時軍艦春日號に搭乘し馬關を出帆し二十五日正午仁川に着午後一時上陸せらるゝ筈なり

●農工債券の發行

漢湖農工銀行重役會議に於て農工債券發行の件を議決したるは既報の如くなるが尙他の各農工銀行よりも同債券發行に關し重役會議並に株主總會開會中にして近々決定の上發表すべしと云ふ

●鐵道院の役割

近々新設さるべき鐵道院の役割を聞くに總裁は適任者なしとの名義の下に後藤遞相之を兼任し副總裁は現總裁平井氏、總務部長は山之內氏運輸部長は平井氏之を兼任し經理部長は遞信書記官藤田氏、工務部長は野村技師古川技師兩氏の中に決すべく計理部長は現鐵道部長之に任ぜらるゝに至るべしとの說あれど小林源藏氏野心ありて運動中なりといふ五管理局長の中西部は岩崎彥松氏東部は長谷川謹介氏九州は白石直次氏擬せられ居り新橋は野村、古川兩技師の中なるべく北海道は現任野村彌三郞氏なりと

●內部豫算

內部が明年度豫算として度支部に要求したる金額は左の如し

經常部	五、三四四、五七六圓
臨時部	二、一八七、〇二七圓
合計	七、五三一、六〇三圓

此れを本年度豫算に對比するときは左の增加となる

經常部	一、八七五、九〇一圓
臨時部	一一三、〇七三圓
合計	一、九八八、九七四圓

右增加の內經常部に於ける重なるものは地方警察費八十餘万圓の增加にして各駐在所巡查の增員、裁判所設置に伴ふ巡查の增員水上警察設備警察分署の增設に要し地方行政費に於て地方各部に對する日本人吏員の增加各道の日本人吏員の增加各道警察部の設置に要する費用(從來は豫備金より支出)六十八万圓の增加內部本廳に於て巡查教習所及び衞生試驗所の新設(從來は大韓醫院に附屬せしを獨立せしめ種痘の製造を主なる事業とす)に要する十七万五千圓漢城府に於ける登記事務に要する經費二萬一千圓大韓醫院患者增加に伴ふ設備費約六萬圓土木費に於て既設道路の修理保存に要する費用八万三千圓等にして警視廳は管轄區域縮少により一萬六千圓の減額となる

又臨時部に於ては仁川平壤の水道事業の進行の結果十三萬圓を減じ道路費は本年度に於ては多額を要したるも約四十万圓を減じ河川調査地方土木補助漢城府道路の改修等に要する三十八万九千圓を增加し水上警察用船舶費十二萬二千國民籍調査費十万四千圓木浦水道補助金一万八千圓等の增加なり因みに本年度に於ては豫備金中より本部經費に支出せられたるものあるも右の計數には加算せず

●京龍民團合併に就き　某氏談

龍山民團を京城民團に合併するの議は識者間には前々から問題にせられて居つたので自分の如きは始めから贊成しドーカ此議が成立さんことを熱心に希望して居る一人であるのである、元來都市の經營は大きくなればなる程市民は負擔が輕くなつて而かも經營上には比較的實際の進步を爲す樣になるのである、今日龍山民團が京城に離れて居ることは只に龍山民團の費用を多く要するのみならず何事を爲すに就ても不便利なることは實際自分等が見聞するところである、內地に於ても將た歐米に於ても今日の傾向は成べく小町村を合併して施政機關を單純にし費用を節して一方道路、學校、衞生等の設備に要する費用に充てんとなしつゝあるのである、龍山が京城の一部となりて今日よりも諸般の設備が完全となる場合に於ては龍山の地價は必ず騰貴し地主一同が利益するは勿論從來龍山民團たけにて實行するに難かりし起債の如きも都合良く運び何角利便を得るや必せり、故に自分は此際合併の議あるを幸ひ京龍を一團となし新殖民地に一大都府を建設せんことを呉れ呉れも望んで止まざるなり云々

●農銀の重役會

漢湖農工銀行重役會は豫定の如く一昨日午後一時より同行樓上に於て開會され出席者は白銀行長以下各重役並に久能、早川の正副支配人等にして左記の二項を議決せりと云ふ

一、定款第二十八條變更の件
二、農工債券發行の件

因みに當日は監督官藤原度支部書記官臨席し一場の訓示演說をなせりと

●農銀の株主總會

漢湖農工銀行は明二十二日午後十時より同行樓上にて株主總會を開き別項重役會議にて議決したる定款變更、債券發行の二件を決議すべしと

●韓國煙草生產高調查（臨時財源調查局調查）

道名	耕作反別 步	收穫量目 貫	同上價格 圓
京畿道	一、八四三、五〇〇〇	五二九、〇八〇	四三六、四三〇
忠清北道	九四七、九〇〇〇	三五七、七八五	二六六、五五〇
忠清南道	二、三八七、七〇〇〇	一、〇八三、六二二	七〇二、一八六
慶尙北道	一五〇、五〇〇〇	四四、六三二	三三、九八一
慶尙南道	一、一六二、一〇〇〇	四一八、三八六	二一五、四五三
全羅南道	八八九、四〇〇〇	二五五、二一七	一四一、六六八
全羅北道	二、九七七、九〇〇〇	九四三、九六四	五二五、八〇五
黃海道	二、三七一、〇〇〇〇	九六六、八六五	七〇五、四四一
平安南道	九三五、五〇〇〇	三五七、三六一	二〇三、九六一
平安北道	六八一、〇〇〇〇	三二四、〇四九	二二三、八九三
咸鏡南道	八五一、六〇〇〇	三二三、一六九	二〇三、三二四
咸鏡北道	五九七、二〇〇〇	二〇三、〇四九	一六三、八二〇
江原道	一、六五六、九〇〇〇	五一三、六二九	三二〇、五九三
計	一七、四五二、三〇〇〇	五、九九〇、八五三	八〇五、五八八

●民團の協議會

十九日午後二時より民團樓上にて各議員參集し京龍兩民團合併の可否に就き協議會を開きたるが結局此場合に於て龍山民團より無條件合併を申出る時は別に異議なきことを協議し四時過ぎ退散せり

●冷藏魚類の輸出

釜山水產會社に於ては追々期節に入りたるより仲買人の手により滿川を初め日本內地に輸出する氷藏魚類の輸出昨今漸く多きを加へ[illegible]にあつては買揃地は山陽線を最とし熱田邊に及び遠きは東京にも到る由にて昨今詰込の種類は鯛、サワラを最とし外に多少の雜魚あり冷藏箱は俗に百斤箱と稱するものにして大なる魚類は數尾より小なるに至りては數十尾を氷と共に詰める次第にて値段は魚の大小種類並に日々の相場にて固より一定せざれど先づ一箱六圓より十數圓に及ぶ由來年二三月頃迄はこの氷藏輸出最も盛んなるに至らんと云ふ

●釜山沿岸の漁業

釜山沿岸に於ける漁業の發展したるは最近の事にして卅七八年頃には少數の三重縣漁業組なりしも追々有利なるを知るに及で一昨年來より漸次漁業者增加し現今に於ては砂濱の在る所漁業者の納屋を見ざるなきに至れり今年は北海道漁業家佐々木悅藏氏が鰊漁に着手せり日本漁夫八名に韓人十數餘名を使役して之を試みらると云ふ其成績に依り更に擴張する所あるべしと

●村井の荒蕪地經營

京釜線の三浪津より分岐して洛東江を渡り馬山線の進永驛に至れば一面茫々たる荒蕪地を見る、之即ち村井吉兵衞氏經營中の荒蕪地なり、停車場より二町餘を隔でし門構への一廓あり村井農場の看板揭げらる門を入れば右に請願巡查駐在所及び社宅一二棟左に同じく社宅の長家一二棟と倉庫あり、更に進めば左右に上等社宅四戶及び倉庫ありて正面の洋館は事務所なり主任國仁三郞氏の語る所に依れば買收地域は約三千町步にして此周圍八哩十七町三十三間あり洛東江に面し大小八個の丘陵の間九ヶ所(內最長八百六十間)に總延長二千四百間の堤防を築きて二千七百五十町步を包容し荒蕪地內より流れ出づる一小枝流に閘門を設く堤防の高さ三丈天場九尺一割五分の勾配とし此總工費約三万圓閘門の工費約五万圓なりと此の外に進永を距る七八里の咸安に約一千五百町步を買收せり進永の荒蕪地は主として米田となすの目的にて今日迄の開墾地米田百五十町步畑地八百五十町步計約一千町步にして未だ其三分の一の開墾を了したるに過ぎず、米田は專ら日本人に耕作せしめ四十戶約八十人の農夫を移住せしめたり畑は韓人に耕作せしめつゝあるが買收地域內の韓人家一千八百に達す、地味は頗る肥沃にして水田となしたるものは中以上の熱田に劣らず昨年は相當の收穫ありしが本年は閘門と堤防との間壞裂して全部浸水を見るに至り收穫皆無となれり併し堤防の修繕は直に着手する筈にて將來洛東江の汎濫は或は之を防止するを得べきも雨量面積九千七百町より生ずる水量の排除方法に就ては未だ何等の成案なきものゝ如し、若し水路を設けて閘門外に排出せんとせば昌原谷深く〳〵して堤防數里に亘り工費に巨額を要すべく容易の事業にあらざるを以て、同場に於て[illegible]町步を貯水池となし之を犧牲に供せんとの考案を抱き居れり而して同場最終の目的は將來米田二千町步を得んとするにありて三十八年始業以來進永荒蕪地のみに對する投資額約二十五萬圓其他を合し村井家今日迄の投資總額約三十萬圓にして今後全部の事業を完成し豫定の目的を達せんには尙約五ヶ年の歲月と從來の投資額以上を要するの見込なりといふ之を要するに村井農場は韓國唯一の荒蕪地經營者として二千町步の米田を得んが爲め、幾多の困難と危險とを冒し六七十萬圓を投資せんとしつゝあり韓國の荒蕪地經營を容易なりとし有望なりと信ずる人は此村井農場の事業に注意を怠るべからず

●仁川牛乳組合

一昨日信夫理事官より認可を得たる仁川牛乳搾乳組合の內容を聞くに同地に於ける牛乳搾取業者及び販賣業者を以て組織し組合員は協力一致の針路を採り純良精撰なる牛乳を需要者に供給し社會全般衞生上の裨益を企圖することを主眼の目的とし組合役員は互撰に依り組長一名、副組長一名、會計役一名、顧問獸醫一名を置き組長及び副組長、會計役は各名譽職にて唯だ實費を支給し每月一回組合會を開くを例とし牛乳瓶の如きに至る迄組合員の決議を以て制定せる以外の用器を使用するを許さゞる等の規定あるが現在も組合員は岩本次郞、上野友次郞、增田末吉、波多野良藏、岡田市太郞、深堀愛次郞、新原茂の七氏にして組合長は岩本氏副組合長は上野氏會計役は增田氏なりと云ふ

●韓船顚覆救助

黃海道甕津郡西面魚化島より韓人六名小舟に乘じ十三日午後六時頃龍湖島に來航の途中龍湖島南方沖合約一里の處にて俄然暴風に合ひ激浪の爲舟は遂に顚覆し乘組人等は漂流しつゝ悲鳴をあげ救助を求めあるを聞知したる同島憲兵分遣所上等兵二補助員三名は現場に急航し村民と共力之が救助に努め二名の上等兵は海中に跳り入りて救濟したるも海水を多量に吞み加ふるに寒氣の爲め一時は凍死せん計りの有體なりしが手當宜しきを得て人命には異狀なかりしと云ふ

●大韓山林協會規約

別項大韓山林協會の規約は左の如し

第一條　本會は大韓山林協會と稱す
第二條　本會は國內に在る林業の改良發達を圖るを以て目的とす
第三條　本會は本部を京城に置き會員三百名以上有る地方には支部を置く
第四條　本會は國內にて林業又は林產業の實務に從事する者又は林業を研究して斯業の智識交換を目的とする者を總て會員となす事を得
第五條　會員は林業に關する事項に就き本會に調査を依賴し質問をなす事を得
第六條　會員は林業の狀況及統計等の調査に關する本會に必要なる材料を提出する義務あり
第七條　本會に左の職員を置き定時議にて推選す
總裁　一人　副總裁　一人
會頭　一人　副會頭　一人
評議員二十六人　[illegible]
第八條　總裁は本會を總裁し且監督す
第九條　副總裁は總裁を補佐し總裁事故有る時は其の事務を代辨す
第十條　會頭は本會を代表し本會一切の會務を掌理す
第十一條　副會頭は會頭を補佐し會頭事故有るときは其の事務を代辨す
第十二條　評議員は會中重要事件を監査す
第十三條　理事は會務を分掌す
第十四條　總裁副總裁會頭副會頭理事の任期は四年とし評議員の任期は二年とす但し特別の場合は再任することを得
第十五條　本會は其の目的を達する爲め會報及び調査報告を發刊し且つ林業に有益なる圖書を刊行して會員に頒與す（未完）

●經濟協會の合併申込

仁川經濟會と築港期成同盟會とは或る點に於いて其の目的全く一致し兩者存在の必要を認めざるに至りたれば經濟會より築港期成同盟會に合併を申込み妥協なるに於いては同會に築港調查員なるものを置き飽くまで同盟會當初の目的を達する筈なりと云ふ

●穀米協會役員會

仁川穀物協會に於いて仁川商業會議所の囑托を受け制定すべき穀物協會規則及其の細目に亘る案は役員會を開きたる上決定する筈なるが會長奧田貞次郞氏は目下釜山に旅行中なれば其歸仁を俟つて役員會を開き決定する筈なりと

●山林協會招待會

韓國民の林業思想を喚起し國內の林業の改良發達を圖る目的にて設立せられたる大韓山林協會は一昨十九日午後六時在京城の新聞及通信記者を淸華亭に招待し晚餐の宴を張れり席定まるや會頭李夏榮氏の挨拶あり今井日々新聞社長來賓一同に代りて謝辭を述べ酒杯を擧ぐるの間韓國の林業に關する談話を交換し散會したるは午後十時也しと

●鴨綠江結氷　中江鎭附近の鴨綠江は十日以來全部結氷せり

●連絡輸送　今回富山魚津間鐵道開通せしを以て鐵道管理局に於ては新開線の連絡輸送をなすべしと

●三宅博士の歸朝　人參に關する研究のため過般來韓せし三宅博士は今朝[illegible]の途に就けり

●渡邊技師の歸任　東京に出張中なりし度支部財源調查局渡邊技師は昨夜歸任せり

●山岡稅關長の歸任　會議のため[illegible]なりし山岡釜山稅關長は昨夜歸任せり

本日の集會

●龍山本願寺　午後七時　說敎　伊藤開敎師
●南山本願寺　同七時半　說敎
●明治大學校友茶話會　小宮宮內次官宅

公人私人

▲山岡義五郞（釜山稅關長）十九日歸任
▲瀨井梅太郞（同 主事）同上
▲上林敬次郞（度支部書記官）十九日入城山本旅館

●近事片々

▲京城日報の東京特電の焼轉載は隨分面黑し斯る電報を轉載するもの何處にある乎
▲最も特殊の者なれば焼轉載もよけれど
▲獨りよがり[illegible]で手前味噌は斯くも甘味なるもの[illegible]隨分お入啓し也アヽ
▲近き未來に於て雜報の焼轉載が始まるならんとは或人の嘲罵或は之なきを保せず
▲室々たる大[illegible]の特種の記事には或は必要ならん[illegible]る田舍新聞には最も珍し
▲在韓新聞紙中に特別の表徵あるものを好新聞となさば焼轉載は僞に其雄なる者也
▲流石は御用紙なる哉東京電報に二欄あり一は特電一は並電特電は最も貴重にて候
▲並電の方は格別安く御賦申升され度特電の內容も余り替りたることもなき樣也
▲斯る者では轉載せよと云ふも些と困るとは或人
▲李允用近頃亦活動を始めたり統監公の歸朝近きにある爲なりや隨分拔け目なき男
▲宮相を辭して以來種々に運動したるも左つ張り有封に入らず今度は有封に入る乎
▲完用君も多少手を採りたからんが今が大事の時なれば迂濶に兄の爲にも働かれず
▲自重戒嚴せるを以て尤用君も亦活動に便ならず伊公の歸任と共に或は飛躍せん乎
▲財を積み門戶を張りて目的の半ばを達したらば最早悠々閑臥するを選れりとす也
▲愛妾山月の手でも引て溫陽若しくは東萊邊に遊ぶを可とす時には風流韻事も可也
▲宋秉畯君較近何事を策しつゝあるか鷗事あり美姬あり今更に功名に憧がれ玉ふな
▲君が山口にありし頃の抱負は今や實現す君としては功成り名遂げたるに非ざる乎
▲伊公歸任して聯合內閣組織せらるべき夢を覩つゝある政客夫れ漢城に幾人あらん
▲李容九にして入閣する如き事あらば宋君は野に下りて一進會を率るの覺悟ありや
▲韓國一の富豪と噂さる閔泳徽も兎角に政權を喝仰して止まず能く〳〵因果の斷也
▲金持喧嘩せずして傍觀の地位に立つは日本の事也韓國人は何處〳〵迄も政權狂也
▲靜岡縣の山奧熊切村に大佛々現はれたりと丈け五尺餘にして頭毛三尺に餘れりと
▲佛は色狂の獸類時々所々に出沒して人間を[illegible]

後の奇緣(二)

ひで子

「局長さんの家、誰でせう」

「奥樣だ、れ前は早く仙臺とかへ貰はれて居つたから、知ら無いも無理はないが、姉さんは、神樂阪で、露子と聞つて藝妓をして居れ、むゝ十八の時だらうた、夫れから既に六年後の今日、殊に僅々一月前の新任局長、其奥樣だ、夫れが今夜知れたと謂ふも不思議じや無いか、まだ夫れよりも不思[illegible]」

「あの菊池さんと…………」

「まあ聽け、菊地は姉さんの露子時代から知つて居るさうだ、露が嘗而一度の關係も有つた、誤解を受けて、濡衣だね、疑を受けて、今度で三度、二人共哀れな境遇に、落ち込むだ、まあ因縁とでも謂ふのかね、最初は二人共殺される處だつた、二度目は身の潔白を立てる爲め、姉さん自ら身を去つた、三度目の今夜は、知つてる通り、菊地が、錠蔵を去るのである、夫れが何日も偶然に遭遇する機會と成るのは、不思議じやないか」

冷ねた盃をぐつと干して、低聲に成り

「心配するのは、彼の奥樣が、菊地に義理を立てゝ、飛出さ無か好いが………」

「そうですね、妾の氣性としても、跡を追掛けたい氣がしますもの…………あ、明朝早く、奥樣に逢つて見ませう」

「むゝ、そうするが好い、れやモウ三時過ぎたね、菊地は今頃何處迄行つたらう」

千代田の乾、小石川は白山に、老舗で知られた酒屋の娘、美枝子も靜子も、實に蝶花の愛嬢であつた、左しもの老舗も、一朝の手違から、哀れや遂に靜子は遠く、仙台の田舍へ遣り、殘る美枝子と親子三人、江戸川端へ浪居の身の、夫れさへ貧が元の病で、程もなく兩親に別れ、孤子と成つた美枝子が十九歳、神樂坂の藝妓屋で、十八迄育てられた。靜子は亦仙台の人と爲り、是れも不運は姉に讓らず、十六にして、京に賣られ、十九の年に朝鮮は、仁川に恥を曝す身と成つた時、今の夫、坂田保に拾はれたので、斯くして坂田が近き頃、交り結んだ菊地の事から、姉の消息を聞ひたと謂ふ

●水原監獄 囚徒逃亡

……看守を毆打す……

囚徒の脫獄騷ぎは近來續々として耳にする所なるが爰に又々水原府監獄署の囚徒十四名が一昨日午後二時頃看守を毆打し直ちに其の場より逃亡せし椿事こそ起りたり さて拾四名の囚徒等は當日數名の看守に連れられ北門外鞍龜亭に於て服役し居りしが豫て午後二時頃に至るや彼等は豫てより密かに識し合はし居りしものか一同俄かに職務の手を廢め同勢を看守に打つて掛り看守も必死の力を以て之を防ぎしも多勢に無勢結局イヤといふ程毆打され其の場に斃れたるが彼等は此の機會に乘じ風を食つて何れへか逃亡し蹤跡不明となりたる由依て此の警報を耳にしたる水原警察署にては直ちに巡査數名を派し囚徒の行衛を搜索せしめしが其の結果中五名丈を取り押へたりといふ今左に囚徒の姓名を擧ぐれば、終身懲役安泰發、李叶成、柳鳳石、十年懲役李最五十五年懲役金洪老楨、李允明、八月趙亞吉、張鳳鎭

●旭町の出火

昨夕旭町二丁目佐藤旅館下長洞百十統八戶金海成(四三)方より出火し溫突一間土間一間を烏有に歸せし六時四十分鎭火せしは取り敢へず昨紙報道し置きたるが原因は金の義弟が溫突に焚火し居りしに圖らずも傍に積みありし松葉に飛火が移りたるより起りたりと損害高は五百圓以上なるが何分未だ宵の口とはいへ場所柄のことゝて一時は仲々の騷ぎなりし例に依り民團消防隊の働きは振ひ居れり

●鐵原附近の强盜隊

……城北[illegible]襲ひし賊徒か……

本月十四、五、六の三日間に亘り鐵原に二十餘名の强盜出沒し今は行衛不明となりたるが其の當時の模樣を記せんに該賊徒は各自兇器を持ち隊を作し一の首魁らしきものゝ一命一令の下に進退を共にし居ることさも軍隊のものゝ如しと云ふ而して彼等賊徒の個魔は同郡內敗邑の豪家鄭德順宅及び金城兩郡各所に及べる由次に賊は前記の鄭德順をば鐵原の後方なる山中に拉し去り[illegible]强制して金員を强奪せる[illegible]今は白晝[illegible]等の影さへも認めず[illegible]警察側の意見を聞くに同地方の民心恟々[illegible]彼等盜賊は或[illegible]過日東大門外に現はれたる一隊にはあらず[illegible]との事なり

●之も誰故の人故

……花蝶の窮策……

男女の兩人は絕えて久しき逢ふ瀨に嬉しさ樂しさ譬ふるに物なく當座は戀に憧れし空蝶の先きの考へとては何もなく唯ツカく日を送り居る中女は男を呼び寄せし遊興費の立ひきや何やにて少からぬ借金を負ひ男も又持ち來りし用意の金をば盡く使ひ果したれば今は兩人共ホトく困窮しイツ迄も自由姆業をして男と共に內地へ逐電せんと迄思ひしが流石は義理ある主人の手前ツレも出來兼ね如何はせんと思案に餘りしが兎も角女よりは男の身の振り方を附くるがマア第一と女は樂中の仲居に賴んで男をば龍山の陶器商山崎某方に番頭として雜め込み自分は今迄と打つて變つて勤めに身を入れ一日も早く借金の重荷を輕くせばやと斯く決心を附けし甲斐もなく男といふが豫ての宿痾たる脚氣を病み出し醫者の治療も其の甲斐なく終に一旦國許に歸ることゝなりたるがソレに附けても先立つものは金許り男女の兩人も之には殆んど困却し如何にして調達せんものをとさま〳〵と思を廻らせし揚句の果女は何と思案を定めしものかソレより五六日を經て三十圓といふ大金をば龍山なる男の許に耳を揃へて與へにき男は此の意外なる女の働きに心より感心し女に向つて手を合さん許りに禮を述べ程經て女と袂を分ちて一擊の瀨笛と共に龍山を出立せしがソモ〳〵此の金の出所についてはゾン〳〵面白き魂膽こそ潜み居れり(つゞく)

●店員評判記

森安商店主任 山本義雄氏

奇智横溢、商略縱横、事に當つて變通の才を用ひ、客に接して應酬の妙を廻らすは蓋し氏の天才であらう、而已ならず氏は非常に滑稽の才に長じ、言葉の上にも文字の中にも必ず人を笑はせ地を抱腹さする奇言警語を現はして居る、斯るが故に客扱ひは普通の商人に比べると一際巧みで、笑戲諧[illegible]手際商賣人としては誂へ向きである、年未だ半白に達せざるも從來種々樣々の閱歷を經、酸いも甘いも嘗め盡して居る丈ありて言行共に人から後指を差さるゝやうなブマはない、渡韓したのが三年以前、曾ては福岡に於て鑛山事業に從事したことがあるさうだ、主國は福岡市、現今の地位は販賣主任である。

森安商店員 松村近太郎氏

氏は幼より家具商として身を立てんと志した、弱冠にして京都市上京高等小學校を卒業し、次で同地の手工學校指物挽物科に入學し、業了るや大阪洋家具商某方に身を任かし多年修練せし學理と實際の手腕とを揮つて大に主人の稱讚を博した、宜なり錬磨の時を經て怠らずんば必ず他日の玉成を期せんとは氏が座右の銘で當時已に出藍の譽があつたのも此の錬磨の外に過ぎぬのである其の後幾千もなくして同店を辭し、森安商店に入つたのが本年の春依例非凡の技倆を揮つて剋々職務に從事して居る、資性[illegible]直にして重厚言笑苟もせず、一見大人の氣風がある、而も年齡未だ二十年洋々春海の如くである、

森安商店員 加藤甲平氏

森安商店に入つたのは今より二年以前である、幼少の頃より孝悌の心厚く且つ寛恕の念に富んで居る、併し外面は非常に快活で一口にいふと明敏濶達といふべきである、生國は姬路、夙に土地の小學校を卒業し未來は立派な家具商人として社會に名をなしたいといふ健氣な希望から森安商店員とならうと思ひ此の朝鮮に渡つて來たとの咄である、然り今や此の希望の一部は達せられて首尾よく同店の店員とはなつたが幷は一部の楷梯に過ぎぬ故マヅ之からの刻苦鑽勵が肝要である、聞けば本年十九歳とか乞ふ幸に自玉加餐するがよい

●邦人小作人の爭鬪

……地主の注意を促す……

邦人にして韓內地に入り込み農事經營に從事するは喜ぶべきことなれども時には自己の我利〳〵主義より地域の境界至つて不明瞭なるを奇貨とし濫りに自己所有の區域のみを擴大せんとするの餘り他の地面を侵略し其の結果爭鬪紛擾を惹き起すことは從來有り振れたることながら今又爰に黃海道黃州に於て小作人の激烈なる爭鬪こそ起りたり同地よりの通信に依れば黃州本谷坊に於ける太田農園と隣地森農園とは平素より兎角仲惡しく自然双方の小作人迄も相反目し居りしが去る十六日端なくも一場の大爭鬪を惹き起せし顚末といふは同日森農園の小作人鈴木なるものが例の通り耕作に從事し居る所へ太田農園の水野といふが來り無斷に俺れの領分內に鍬を入れる奴があるかと一本劍突を喰はせしに水野も默つて居らず『旦那がチャンと極めた境界內だ引き込んで居れい』と罵り返へせし果ては双方とも摑み合ひとなり上を下へと組み打ちを爲し居りし事を双方の仲間のものが聞き知り双方入り亂れて非常なる格鬪を演ぜしが結局憲兵の手を煩はし漸く取り鎭めたるが其際鈴木は重傷を負ひ同地の病院に入院せしといふ

▲新年號附錄▼

追々と新年も近寄つて參りました、例に依つて各新聞雜誌社が新年附錄を調製する爲め之が趣向と意匠とにつき今より苦心を重ねて居りますのは每年何所も同じことでありますが却說本紙は此の來るべき新年に際して何のやうな附錄を調製して愛讀者諸君の眼を喜ばしめやうかと種々樣々と考案を廻らした末、双子六を添付しやうといふことに決定しました、申す迄もなく、双子六は新年に於ける家庭の娛樂法としては最も趣味に富んで居る面白い遊戲であります、而も之が意匠と趣向とは從來有り振れたる陳腐のものではなく極めて嶄新にして奇拔なものであります、マヅ之が內容を一言に申しますと京城の各商店、銀行、會社、旅館、料理店(個人も含む)等を順々に並べ本社を振り出しとして振り始むのであります、思ふに之れ唯に趣味ある娛樂法たるのみならず一面には京城の案內記とも見るべきものであります若し夫れ如上の各商店、銀行、會社、旅館等に於て一朝之れが双子六中の者となつたならば其の廣告の効能は偉大なるものだらうと思ひます廣告の締切は

十二月五日限です

●賭博

一昨日午後三時頃南部五壯洞百四十九統一戶匠房部方にて同居人の孔順安林根有、金魚洞及び金成雲の四名が賭博をなし居る所を銅峴分署の巡査に踏み込まれ[illegible]

●阿片を喫す

一昨日午後三時頃南部石井洞の某韓人方にて南部小廣橋居住金順昌といふものが阿片を喫烟し居る處を南部署の巡査に認められ本署に引致さる

●件の如し

一昨日午後七時弘門洞通りを一名のヨボが板を擔いで行く樣子の怪しきより同派出所詰台巡査が取り調べ見しに龍山鐵道監督部から盜んで來た白狀したが此ヨボは南部弘門洞四統六戶金義坤方金德五(五九)といふ人夫なので直ちに引致さる

岡可娛欄(廿六)

魚友痴史

●興詠(十七日店員評判記參照)

▲守屋柳治君
正確に身をば守屋の信用も深き智囊の締めくゝりあり

▲清水重雄君
浦若き身には珍らし濁江の浮華に淸水の末たのもしき

▲新原茂君
新はらにしげる林幹才能は他をば凌ぎて一頭地を拔く

●壽座今晩の替り狂言

同座今晩の替り狂言は『金色夜叉』にて重なる配役如左
風早庫之助(稻葉)お宮母お隆(堀江)佐分利武夫(常盤)富山唯繼(吉井)間貫一(田宮)湯佐良橋(松村)鰐淵直行(福井)ボーイ(藤原)停車場赤帽(秋岡)荒尾讓助(佐海)鳴澤宮子(坂本)車夫熊吉(櫻木)同三太(島村)赤樫光枝(酒井)

●警報

昨日午前十時仁川觀測所よりの警報左の如し
風强かるべし低氣壓は平壤にありて七百六十ミリメートルを示し東に進まんとす韓國中部の警戒を要す

猫久

（…）…口演

熊「冗談言つちや不可ません…親方グタ〳〵笑つちや困るぢやありませんか 公が此のお侍に叱られちまつたからつて… 夫れや猫が化けたのぢやございません「…」

士「何にが化けた…

熊「何にも此の…化物ぢやございませんから猫…つたんだから猫又の…化物でも何でもない…訳ではございません…

士「成程なるに…

熊「旦那…此處は清水久六といふ奴が旦那あるんで

士「成程此者が化けたのか

熊「旦那、村で聞いて御覧じれ何んなことが無い…外の者さへ…此久六といふ奴は人の好い所から此久六と…なく久六の字名を猫久と附けちまつて今ぢや清水久六といふ名前は誰れも知らない位…腹を立つたこと…然んな人間でございますから何んな喧嘩をするの争論をするのツていふことは無いので所が珍しく今日友達かに…證を播されたとかいつて…立つて先の奴を殴るか自分が殺されるか命の遣取りをするんだつて家に駈込み取りに帰つたんでございます

熊「旦那の前でございますが亭主が喧嘩をして帰つて来て…ば嚊アが留めるのが當然なのに此の嚊ア余程可笑しな嚊アで匕首を抱へて神棚の前に座つて三遍頂いて夫れを亭主に渡してやつたんで余んまり可笑しいと思ふから此處まで來て親方が何ういふ譯だと聞くから是れ〳〵斯ういふ譯でと夫丈けの話をしたんで何にも猫の化物が出たんぢやございませんお前さんの御息さんが驚楽をしてお前さんの公儀をスッアン〳〵にしたからつて其中を小哥が五圓拝借をして遣つたといふ譯ぢやねへんでございますから何うぞ宜しく頼み申します

士「イヤ夫れは〳〵何うも誠に拙者に於ても誠に周章てた話であつたが左様かな

熊「ヘエ左様で

士「然らば何にかな貴様の朋友清水久六といふ此者人の好い所から朋友が通稱存名を致して彼奴を猫久と申す然るに猫久なる者今日怒りを發して既に勘辨ならんといふ場合にまで立至り先方を害さんと欲して我家に立戻り妻なる者に剣戟を出せと罵しつたんぢやな

熊「成程」

士「デ妻なるものが直ちに此剣戟を取出したることに神前にて三遍頂戴いたして之を夫に渡したといふ夫れを其方が只今審家の主人に告げて嘲けつて居るのか

用途…無煙炭…特色…用途…燃料に適す

…省…所…谷口無煙煉炭工場

京城…巴商會…二丁目



代理店

懐中要薬

清心丹は旅行携帯薬として缺く可からざる良薬にして汽車汽船のゑひを快よくすること妙

清心丹は高尚なる香氣を含み口熱悪臭を…し音聲を清朗ならしむる特効を以て…家の必携剤なり

清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし

清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ

清心丹は過酒過食之停滞を解し消化を良好ならしむること妙

清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を噛み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり

清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒噛み碎用ひて大に豫防す

清心丹は人氣の商標と高木與兵衛の名儀へ御注意之上御求めを乞ふ 定價金一圓（箱入）五十錢（箱入）廿錢十五錢（鐵入）十錢（紙包）二錢（紙包）の八種あり

清心丹は製造本舗は東京市日本橋區大坂町八番地にして取次は各地の有名藥店にて販賣す

京城南大門通三丁目 新井藥房本店

京城本町三丁目（電話四七八番） 新井藥房第一分店

京城南大門外 新井藥房第二分店

▲轉宅荷物運搬（京龍間建築土木材料其他諸貨物の運搬及び人夫請負）

弊店儀今般右の營業を開始仕候に付ては貨物の多少又は土地の遠近に拘はらず御報知次第直ちに店員を派出して御用命に應じ可申尚は弊店は責任を重んじ万一御委托物に對し店員の不注意より損害を加へ候節は弊店に於て其賠償の責任に任じ決して御迷惑は相掛申間敷候間續々御用被仰付度此段謹告候也

京城南大門通り三丁目二十番戸三浦商店向側

有田運送店 主 有田豊太郎

▲木炭荷着

今般開城、谷城、南川、新幕、炭各種製造元より數萬の木炭を買占め尚又各地へは店員を派し品質選目等を診味被致候に付尤も安全なる品を特別廉價にて卸小賣とも精々勉強致し御注文に應ずべく候間續々御用命被下度奉願上候

尚御賣は貸車南大門驛到着の節最も薄利にて御相談に可應候

京城壽町三丁目 薪炭石炭御小賣商 今福商會

同開城出張所 今福商會

インペリアル GDS

土耳古煙草直輸入卸小賣

本品ハ特ニ原料ヲ精選シテ製シ特色ノ風味香氣ヲ有シ最モ高尚ナル飲料ニシテ來客用ニ適セリ

明治町壹丁目 ジーデーシエリス會社出張所 ヱムジーシエリス

◉刻煙草景品附大賣出し

東洋煙草會社製刻煙草發賣御披露トシテ來ル十一月一日ヨリ十一月三十日迄向一ヶ月間景品附大賣出シ可仕候間陸續御購求之程御喫用之程偏ニ願上候

追テ景品ハ即時御渡シ可申候（五十錢毎ニ景品券一枚宛差上可申候）

◉景品目録左之通

一等	舶來白毛布一枚組	代價廿五圓	一本
二等	蒲團綿十貫目	代價十八圓	一本
三等	最新流行掛肩一枚宛	代價七圓	三本
四等	最新流行巻一枚宛	代價五圓	五本
五等	珠子の首 舶皮手袋 一双宛	代價二圓五十錢	十本

六等ヨリ五十等マデ洋服・東京双子・大島絣・メリヤスシャツ・手袋・首巻各一品其他空くじなし

京城特約店大賣所

綿煙草雜貨商 京城永樂町二丁目 一宮松太郎商店

雜貨卸小賣 京城永樂町三丁目 田中莊平商店

土地家屋 金錢貸借 人事物件 雇人口入業 ちとせ屋

右は精々御便宜御扱可申候間御引立奉願上候

和洋暖爐販賣 並ニ附属品一式 煙突取付請負

京城本町五丁目一番戸 馬木勇吉 電話四七一番

たまや

品質精選 薪炭 京城南山町三丁目 川西商店

土地家屋 金錢貸借 人事物件 雇人口入業 東屋 南大門通二丁目十三番戸

▲第四十…大連… 頭彩金壹萬圓 新暦十一月三日 開彩

第廿三次徽… 頭彩銀壹萬圓 新暦十一月十日

第八十…安… 頭彩五萬圓 新暦十一月十七日

…江… 頭彩銀四萬圓 新暦十一月十六日

定價 大連全紙金壹圓参拾錢 安徽全紙金壹圓武十錢 湖北全紙金七圓五十錢（小切八十錢）即チ十分ノ一 江南全紙金七圓（小切七十五錢）即チ十分ノ一

湖北彩票根據便宜從の改正

西洋雑貨、洋酒、食料品 各國煙草、洋菓子、化粧品 洋反物、毛氈、各式毛布 支那繻子、紋綿子、繻類 各國更紗、彩票毎月販賣仕候

確實…地方御購求希望者御贈金並書留信料添附急速御用命通可賜候

京城銅峴十八銀行通 同順泰本店

仁川港支那町八番戸 群山同順泰支店

蒸すし賣出し

壽司御料理 すき焼

從前の通り大勉強仕候間賑々敷御來光被成下度候

明治町二丁目 松善

韓國仁川港新町二丁目（朝日湯前） 電話三二七番

諸官公署御用達 吉備商會

和洋酒、味噌、醤油、烟草、罐詰 薪炭（木炭石炭）其他日用品各種

副業 名刺、葉書、其他印刷物鮮明迅速調製

特約販賣 自製

漬物 味噌 醤油 製造元

大上商店

京城本町五丁目（電話二五一番）

和洋酒、酒精、穀物麺類銘茶、罐詰、乾物、荒物 食料雑貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣

尚御望に依り商品切手調進仕候

薬化粧品類 シャツ手袋靴下 廉價販賣

御注文次第直様品物持参可仕候

龍山本町二丁目八號官舎前 村田商店

高等御下宿 開業御披露

京城大和町一丁目 大和館

外務衛御用 新疊及表替調達所 …井…郎 電話六七…

神田組

統監府御用 諸官衙人力車 荷物運搬及運送業 伊藤組

…一般雜貨…便利に取扱…

◇ 株式會社第十八銀行 京城支店（電話四二〇）

本店 長崎 支店 京城 仁川 木浦 釜山 元山 群山 鎮南浦…

貯蓄預金 長崎貯蓄銀行代理店 十八銀行京城支店



純良牛乳 消毒安全

易學觀相及教授 三一館

日本郵船株式會社 滊船出帆廣告

仁川海岸通 郡回漕店 電話三九番

城南大門通 巴商店 電話三〇六番

釜山長崎門司神戸行 … 十一月廿日

大連、大沽、牛荘行 … 十一月…

…

新聞料… 廣告料… 發行兼編輯人… 印刷人… 發行所 京城新報社